

2021年3月期 本決算
2022年3月期 業績予想 年度経営計画 説明資料

株式会社 高松コンストラクショングループ 証券コード：1762

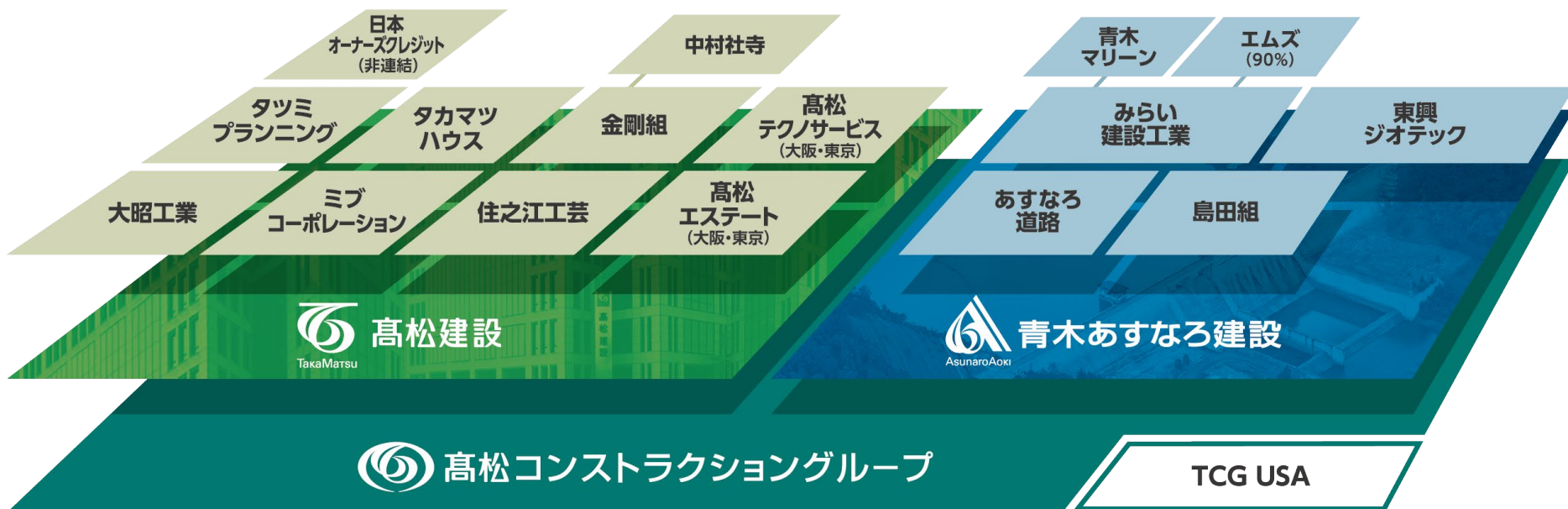
2021年5月28日

1. 2021年3月期 本決算	3
2. 2021年3月期 中期経営計画 進捗状況	13
3. 参考指標	18
4. 2022年3月期 業績予想・配当予想 / 年度経営計画	
4-1 高松建設グループ 年度経営計画	22
4-2 青木あすなる建設グループ 年度経営計画	27
4-3 TCGグループ 業績予想・配当予想	33
5. 2021年3月期 トピックス	36
6. 2021年3月期 受注案件・完工案件	38

2021年3月期 本決算

グループフォーメーション

- ◆ 純粋持株会社の高松コンストラクショングループ、高松建設他11社、青木あすなる建設他6社、海外子会社のTCG USA, Inc.の21社で連結ベース構成。
- ◆ 2021年2月26日に大昭工業がTCGグループ入り。
3月31日に新潟みらい建設の全株式を本間道路（株）に譲渡。
新潟みらい建設は4月1日より本間道路（株）の100%子会社となりました。



*持株比率はエムズ以外全て100%

企業集団の状況（連結）

	土木	建築	不動産	主要営業エリア
高松建設グループ		高松建設		東京・名古屋・大阪
		高松テクノサービス 大阪		大阪
		高松テクノサービス 東京		東京
			高松エステート 大阪	大阪
			高松エステート 東京	東京
		住之江工芸		国内（全国）
		金剛組		東京・大阪
		中村社寺		名古屋
			タカマツハウス	東京・神奈川
			ミブコーポレーション	東京
			タツミプランニング	東京・神奈川
		大昭工業		大阪
青木あすなる建設グループ	青木あすなる建設			国内（全国）
	みらい建設工業			国内（全国）
	東興ジオテック			国内（全国）
	青木マリーン			国内（全国）
	あすなる道路			北海道
		エムズ		首都圏
	島田組			国内（全国）
		TCG USA	米国	
高松コンストラクショングループ（純粋持株会社）				

2021年3月期 業績推移（連結）

◆新型コロナウイルス感染症の拡大の影響が受注を中心にありました。売上高は微増ですが、受注高・営業利益ともに前期実績を下回る結果となりました。

(億円)

項目	2020/3期		2021/3期	増減率
受注高	2,967	↓	2,564	△13.6%
売上高	2,823	↑	2,830	+0.3%
売上総利益	399	↓	383	△4.1%
売上総利益率	14.2%	↓	13.5%	△0.7pt
営業利益	147	↓	121	△17.1%
営業利益率	5.2%	↓	4.3%	△0.9pt
経常利益	143	↓	121	△15.6%
経常利益率	5.1%	↓	4.3%	△0.8pt
親会社株主帰属当期純利益	86	↓	74	△14.2%
当期純利益率	3.1%	↓	2.6%	△0.5pt
受注期末繰越高	3,456	↓	3,189	△7.7%

※大昭工業のM&Aにより、2021年3月期の受注高には大昭工業の繰越受注高2億円を含む。

※タツミプランニングのM&Aにより、2020年3月期の受注高にはタツミプランニングの繰越受注高56億円を含む。

セグメント別・グループ別 受注高（連結）

◆建築は高松建設グループは1Qの受注低迷の影響によるもので、青木あすなる建設グループは大型案件の受注が少なかったことによるものです。

(百万円)

セグメント別		2020/3	2021/3	増減率
建築	高松建設グループ	112,685	94,841	△15.8%
	青木あすなる建設グループ	53,405	46,498	△12.9%
	合計	164,771	131,290	△20.3%
土木	高松建設グループ	17	330	+1841.2%
	青木あすなる建設グループ	104,916	94,456	△10.0%
	合計	104,910	94,445	△10.0%
不動産	高松建設グループ	25,338	30,460	+20.2%
	青木あすなる建設グループ	1,267	166	△86.9%
	合計	27,065	30,717	+13.5%
TCG連結		296,746	256,453	△13.6%

グループ別		2020/3	2021/3	増減率
高松建設グループ	高松建設	94,340	85,494	△9.4%
	高松建設グループ その他	43,702	40,137	△8.2%
	合計	138,042	125,631	△9.0%
青木あすなる建設グループ	青木あすなる建設	96,345	75,120	△22.0%
	みらい建設工業	29,740	30,360	+2.1%
	東興ジオテック	23,604	24,617	+4.3%
	青木あすなる建設グループ その他	9,857	10,982	+11.4%
	合計	159,546	141,079	△11.6%
TCG連結		296,746	256,453	△13.6%

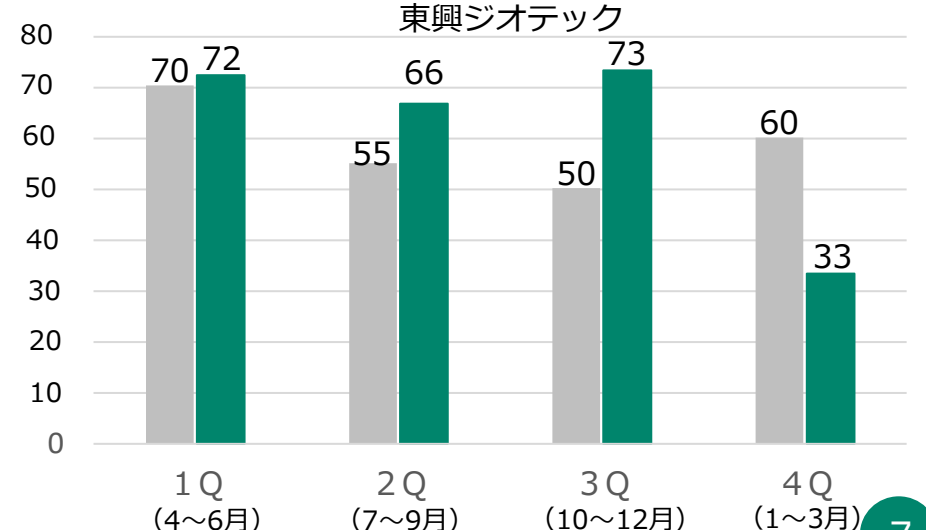
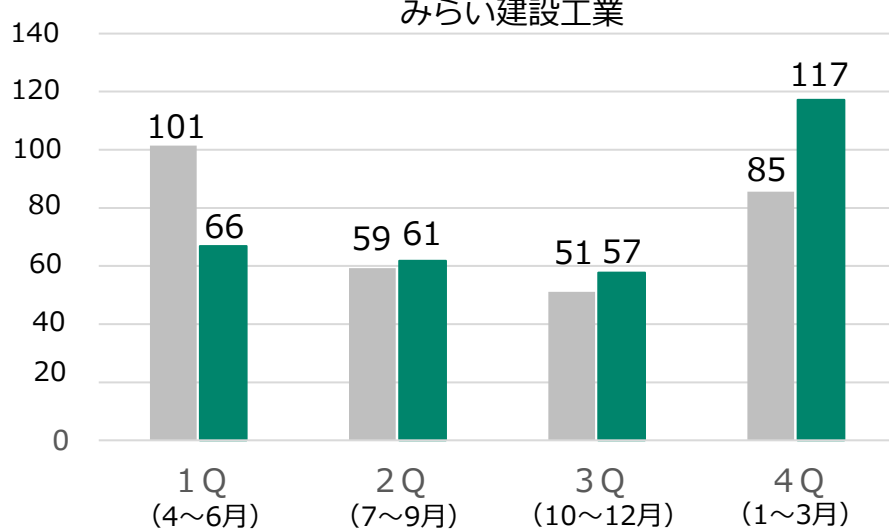
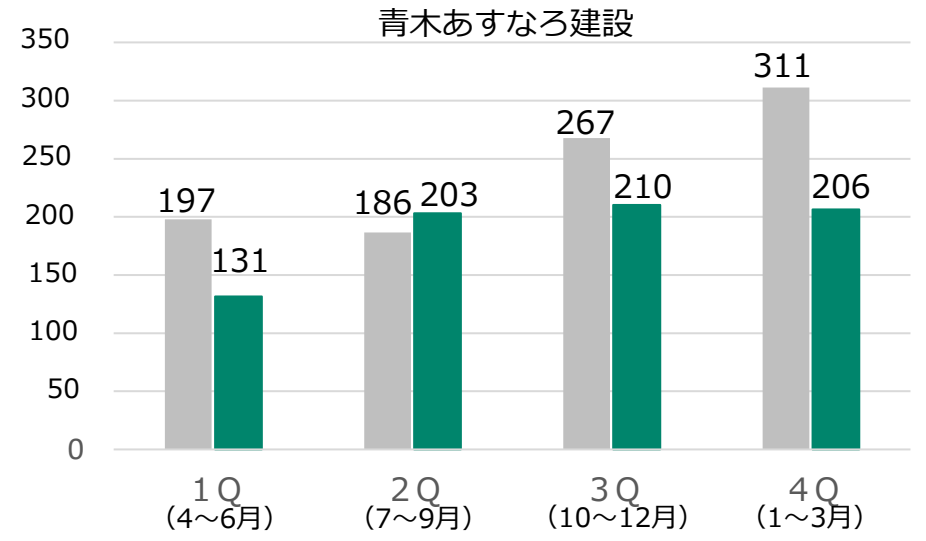
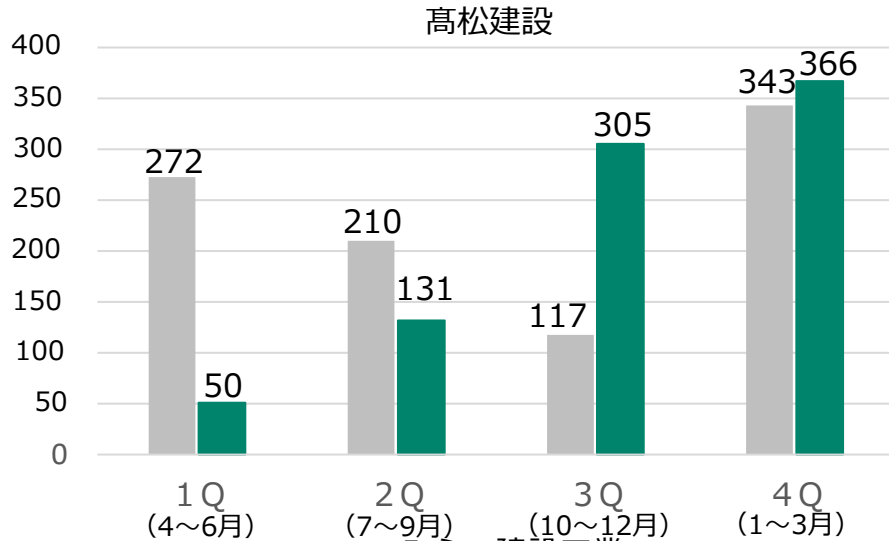
※大昭工業のM&Aにより、2021年3月期の受注高には大昭工業の繰越受注高2億円を含む。※個々の数値の合計と合計数値は連結修正のため一致しない場合がある。
 ※タツミプランニングのM&Aにより、2020年3月期の受注高にはタツミプランニングの繰越受注高56億円を含む。

2021年3月期 主要4社の四半期ごとの受注実績 前年度比較

◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で高松建設は上期受注で苦戦しました。東興ジオテックは技術者が不足したため4Q受注は減速しました。

(※ 数値は累計値ではなく四半期毎の金額)

■ 2020/3月期 ■ 2021/3月期 (億円)



セグメント別・グループ別 売上高（連結）

◆ 建築は青木あすなる建設グループで大型工事の減少にともない売上高が減少。
不動産は、アビダス販売がなかったことによるものです。

(百万円)

セグメント別		2020/3	2021/3	増減率
建築	高松建設グループ	101,274	100,591	△0.7%
	青木あすなる建設グループ	50,496	41,140	△18.5%
	合計	151,002	140,537	△6.9%
土木	高松建設グループ	335	330	△1.5%
	青木あすなる建設グループ	103,987	111,841	+7.6%
	合計	104,299	111,826	+7.2%
不動産	高松建設グループ	25,338	30,460	+20.2%
	青木あすなる建設グループ	1,267	166	△86.9%
	合計	27,065	30,717	+13.5%
TCG連結		282,366	283,080	+0.3%

グループ別		2020/3	2021/3	増減率
高松建設グループ	高松建設	86,305	89,425	+3.6%
	高松建設グループ その他	40,643	41,957	+3.2%
	合計	126,948	131,382	+3.5%
青木あすなる建設グループ	青木あすなる建設	95,609	89,578	△6.3%
	みらい建設工業	28,420	27,804	△2.2%
	東興ジオテック	22,076	24,488	+10.9%
	青木あすなる建設グループ その他	9,586	11,236	+17.2%
	合計	155,691	153,106	△1.7%
TCG連結		282,366	283,080	+0.3%

※個々の数値の合計と合計数値は連結修正のため一致しない場合がある。

セグメント別・グループ別 売上総利益（連結）

◆ 建築は青木あすなろ建設での低採算工事の影響により20年3月期比で大幅減少。
 土木は、青木あすなろ建設で20年3月期比好採算工事がなかったため減少しました。
 （百万円）

セグメント別		2020/3	2021/3	増減率
建築	高松建設グループ	18,794	18,938	+0.8%
	青木あすなろ建設グループ	3,594	2,589	△28.0%
	合計	22,378	21,081	△5.8%
土木	高松建設グループ	78	76	△2.6%
	青木あすなろ建設グループ	13,622	13,391	△1.7%
	合計	13,705	13,395	△2.3%
不動産	高松建設グループ	3,675	3,832	+4.3%
	青木あすなろ建設グループ	93	△89	△195.7%
	合計	3,873	3,829	△1.1%
TCG連結		39,957	38,305	△4.1%

グループ別		2020/3	2021/3	増減率
高松建設グループ	高松建設	15,786	16,408	+3.9%
	高松建設グループ その他	6,762	6,438	△4.8%
	合計	22,548	22,846	+1.3%
青木あすなろ建設グループ	青木あすなろ建設	9,558	7,114	△25.6%
	みらい建設工業	2,644	2,624	△0.8%
	東興ジオテック	3,234	4,310	+33.3%
	青木あすなろ建設グループ その他	1,873	1,842	△1.7%
	合計	17,309	15,890	△8.2%
TCG連結		39,957	38,305	△4.1%

※個々の数値の合計と合計数値は連結修正のため一致しない場合がある。

セグメント別・グループ別 営業利益（連結）

◆ 建築は青木あすなる建設は低採算工事の影響で、高松建設は販管費の増加により20年3月期比で減少しました。土木は好採算工事の減少によるものです。 (百万円)

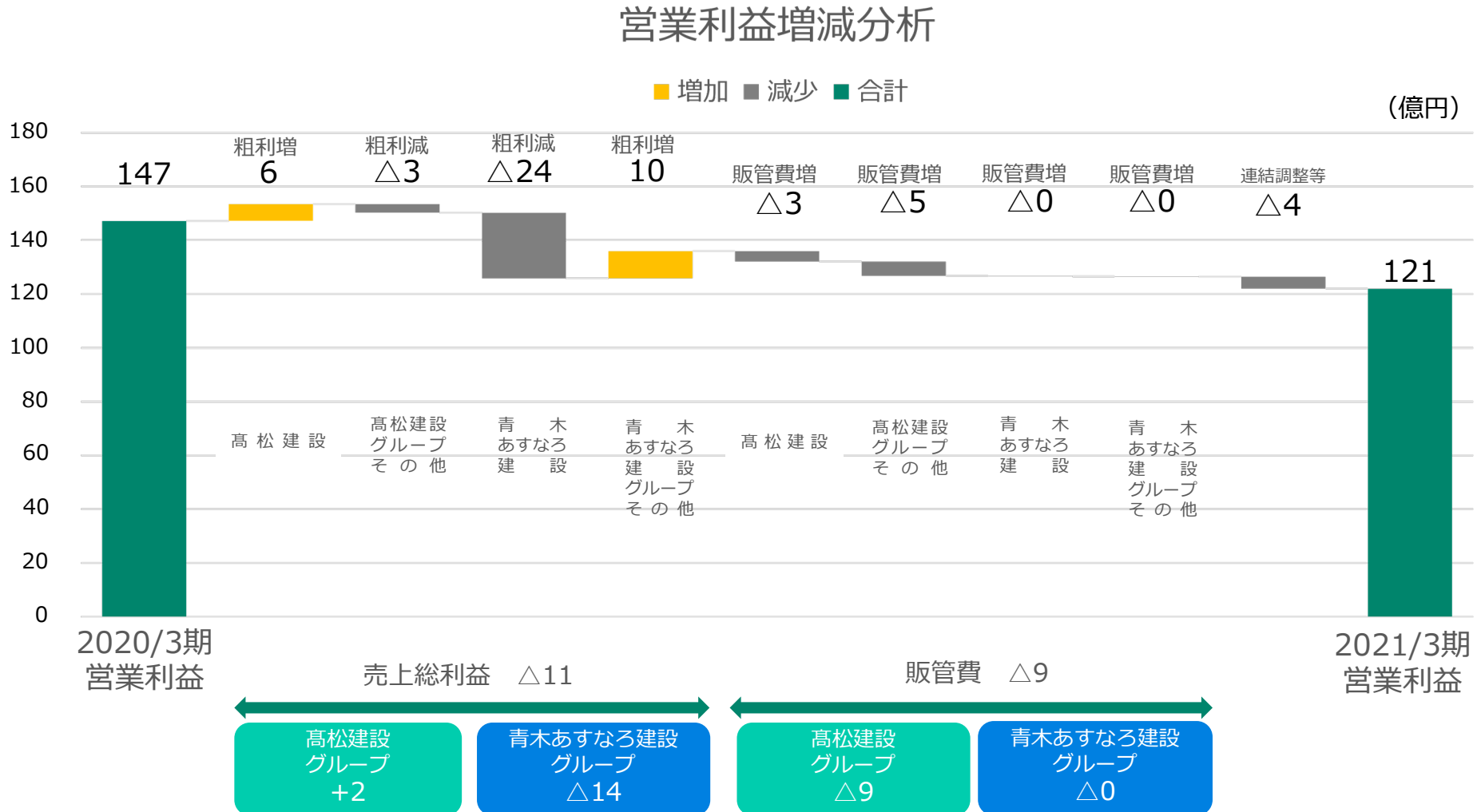
セグメント別		2020/3	2021/3	増減率
建築	高松建設グループ	6,458	5,349	△17.2%
	青木あすなる建設グループ	1,777	686	△61.4%
	合計	8,235	6,035	△26.7%
土木	高松建設グループ	72	77	+6.9%
	青木あすなる建設グループ	8,473	8,089	△4.5%
	合計	8,545	8,166	△4.4%
不動産	高松建設グループ	1,898	2,034	+7.2%
	青木あすなる建設グループ	23	△148	△743.5%
	合計	1,921	1,886	△1.8%
TCG連結		14,720	12,198	△17.1%

グループ別		2020/3	2021/3	増減率
高松建設グループ	高松建設	5,978	6,206	+3.8%
	高松建設グループ その他	2,467	1,606	△34.9%
	合計	8,445	7,812	△7.5%
青木あすなる建設グループ	青木あすなる建設	3,964	1,507	△62.0%
	みらい建設工業	806	816	+1.2%
	東興ジオテック	1,652	2,640	+59.8%
	青木あすなる建設グループ その他	979	992	+1.3%
	合計	7,401	5,955	△19.5%
TCG連結		14,720	12,198	△17.1%

※個々の数値の合計と合計数値は連結修正のため一致しない場合がある。

売上総利益・販管費別 営業利益増減分析

◆高松建設は手持ち工事の順調な推移に伴い売上総利益（粗利）が増加も販管費の増加で相殺。青木あすなる建設は低採算工事の発生により売上総利益が減少。



21/3月期 新型コロナウイルス感染拡大に関して当社グループの対応・影響

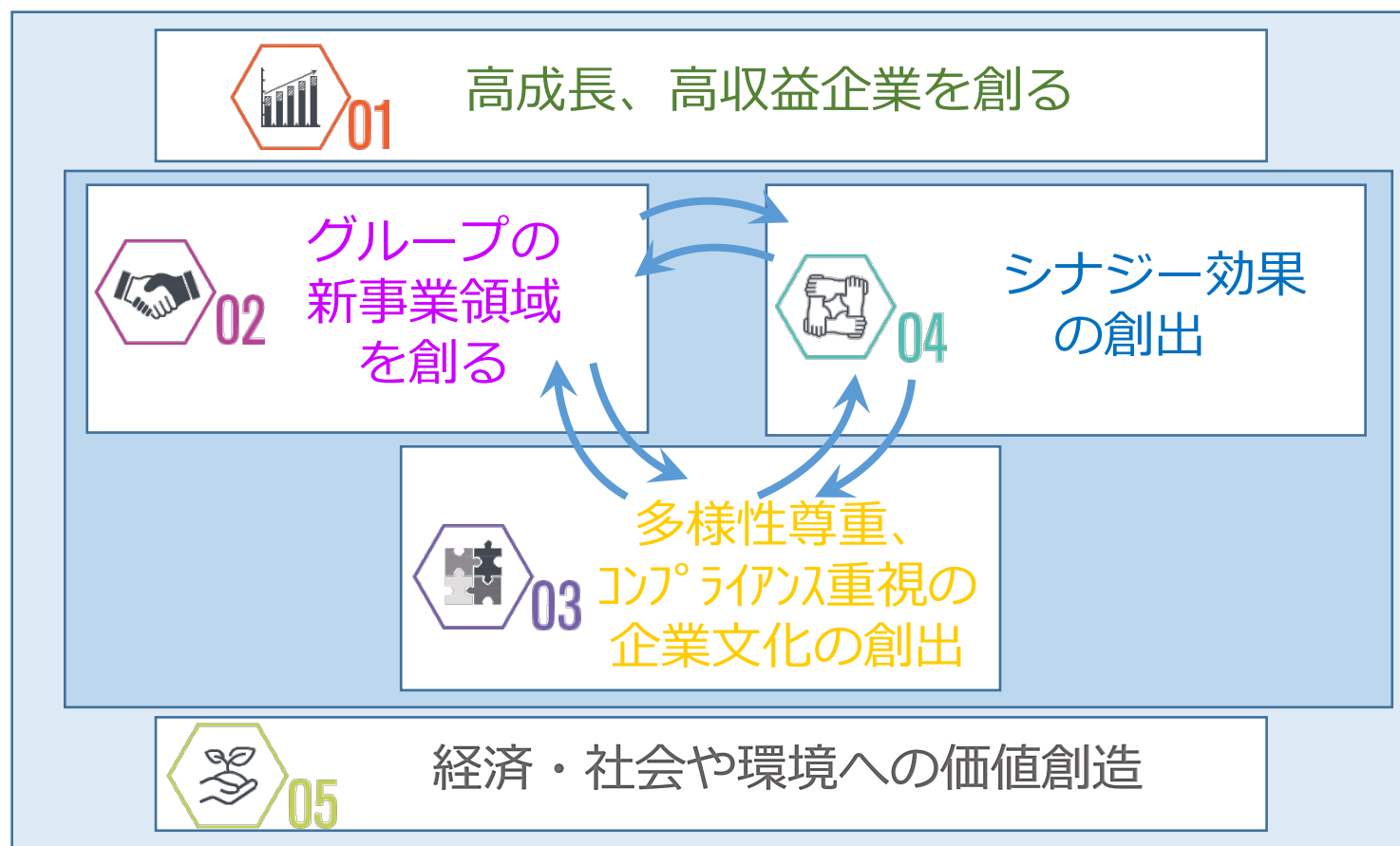
	項目	対応・影響
高松建設	営業活動	<p>4月～6月は対面営業を自粛した影響が大きく、1Qの受注は前期比8割減と惨憺たる状況だった。</p> <p>6月よりWEB面談システムを導入。 WEB・電話・対面での商談を選択できるように整備。</p> <p>8月頃より徐々に対面営業が再開。対面営業の回復と連動して受注も回復。ただし、一部案件で発注の後ろ倒しや見合わせが発生した。</p>
	工事	<p>お客様から、新型コロナウイルス関連で工事中断の要望が出た案件はなかったため、工事を継続した。</p>
青木あすなろ建設	営業活動 (官庁)	<p>一部の案件で発注の遅れが発生したものの、案件の出件自体は好調。ただし、入札への参加企業数は徐々に増加しており、競争は厳しい。</p>
	営業活動 (民間)	<p>一部案件で発注の後ろ倒しや見合わせが発生。 民間の設備投資意欲に関しては押し並べて低調ではなく、コロナ禍における設備投資に積極的な企業もある。</p>
	工事	<p>4月25日～5月6日の期間、青木あすなろ建設では20現場（全て官庁案件）がストップ。 GWを挟んだため、営業日としては4～5日程度の遅延で、影響は僅少。その後、工事が中断した案件はない。</p>

2021年3月期
中期経営計画 進捗状況

中期経営計画 「Create ! 2022」

1. 高松建設をメインエンジンに据え、「高成長」を継続し、グループを挙げ「高収益企業」を創る。
2. この実現に向け、「多様性尊重・コンプライアンス重視の企業文化の創出」を続けながらも、グループ内での「シナジー効果の創出」を最大化し、M&Aを中心とした「グループの新事業領域を創る」。
3. そして、上記を通じ、「経済・社会や環境への価値創造」を継続する。



⇒持続的成長を図るため、設計・工事・アフターメンテの品質を確保し、信頼性を磨き、お客様の満足度を高めることで、当社グループの競争優位を発揮し、より高める。



SDGs貢献売上高

◆中期経営計画「Create！2022」の中で「TCGグループ売上高のうちSDGsが掲げる17ゴールに対応した売上高」を「SDGs貢献売上高」と定義。

◆2021年3月期におけるTCGグループ売上高のうち「SDGs貢献売上高」は1,001億円、売上高に占める比率は35.4%にのびります。

項目	定義	売上高 (億円)					
		19/3期 (実績)	%	20/3期 (実績)	%	21/3期 (実績)	%
E	 環境保全への貢献 以下 ①②③の合計	420	16.8%	341	12.1%	434	15.3%
	①再生可能エネルギーの発展	148	5.9%	120	4.2%	151	5.3%
	②自然共生素材・工法の推進	6	0.2%	8	0.2%	8	0.2%
	③省エネの推進	266	10.6%	213	7.5%	275	9.7%
S	 住み続けられるまちづくりへ 以下①～④の合計	520	20.9%	586	20.8%	566	20.0%
	①安心・長寿命空間の提供	397	15.8%	448	15.8%	427	15.0%
	②安全・快適・高品質の維持	50	2.0%	50	1.7%	44	1.5%
	③伝統建設文化等の承継	70	2.8%	85	3.0%	91	3.2%
	④高齢者向け住サービス	3	0.1%	3	0.1%	4	0.1%
E/S関連売上高合計		941	37.7%	928	32.9%	1,001	35.4%
TCGグループ全体売上高		2,497	100%	2,823	100%	2,830	100%

国内初のサステナビリティ・リンク・グリーンボンド(SLGB)を発行

- ◆2021年3月に国内初のサステナビリティ・リンク・グリーンボンド(SLGB)を発行。
- ◆本SLGBはSDGs貢献売上高を目標値とし、調達した資金を全額グリーンプロジェクトに充当する仕組み。
- ◆SDGs貢献売上高が2022/3月期以降4か年度累計で3,911億円以上となることを目標とし、目標未達の場合は償還時に投資家に対しプレミアムが支払われます。
- ◆最終的に、発行額100億円に対し、3倍超の需要が投資家から寄せられました。



東京都港区芝に建築中のTCGビル（仮称）
 階数： 地上18階 地下1階
 着工・竣工：2020年9月着工 2023年2月竣工予定
 環境認証： CASBEE Aランクを取得済
 施工： 青木あすなろ・高松特定建設工事共同企業体

SLGBの概要

発行年限	5年
発行額	100億円
利率	0.290%
資金使途	(仮称)TCGビル新築工事の建築資金
発行条件と連動するSPTs※	グループ会社全体のSDGs貢献売上高が将来(2022/3 期以降)4か年度累計で3,911億円以上
プレミアム	SPTsが未達の場合は社債の金額100円につき0.5円のプレミアムを償還時に支払う
取得格付	A-（株式会社日本格付研究所）

※サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット (SPTs)
 発行体の経営戦略に基づく目標で、達成状況に応じてサステナビリティ・リンク・ボンドの条件が変動する。

多様性尊重、コンプライアンス重視の企業文化の創出

女性活躍

項目	20/3期 実績	21/3期 実績
女性社員比率	14%	17%
新卒採用者に占める女性比率	26%	23%
女性管理職人数	15人	16人

働き方改革の推進（現場閉所）

	目標	取り組み事項
高松建設	4週8閉所	・現場におけるICT機器の活用推進 ・省力化工法の採用促進 ・発注者への理解働きかけと閉所前提の工期設定 ・協力会社への理解働きかけと支援
青木あすなる建設	4週8閉所	

ガバナンスの強化・コンプライアンスの徹底

	取り組み事項
経営監視機能の強化	・監査役会、内部監査室、会計監査人の連携強化と体制充実およびグループ内部監査の強化
経営の透明性の向上	・社外取締役・監査役への情報提供の充実 ・社外ステークホルダーへの説明機会および情報提供の充実
倫理観・社会的使命感の向上	・役員および幹部社員への教育内容及び回数の充実

参考指標

高松建設 マンション・非マンション別受注高

- ◆ 2Qの中盤には高松建設の主力顧客である個人顧客との面談は再開したものの、マンション受注の成約までに時間を要するため、東京本店では1Qから2Qの受注の出遅れを挽回するまでは至りませんでした。
- ◆ あくまで参考数値ではありますが、大阪本店は非マンション建築が増加傾向であることに変わりはなく、東京本店のマンション建築と非マンション建築の割合は半々となっております。

マンション・非マンション別 受注高

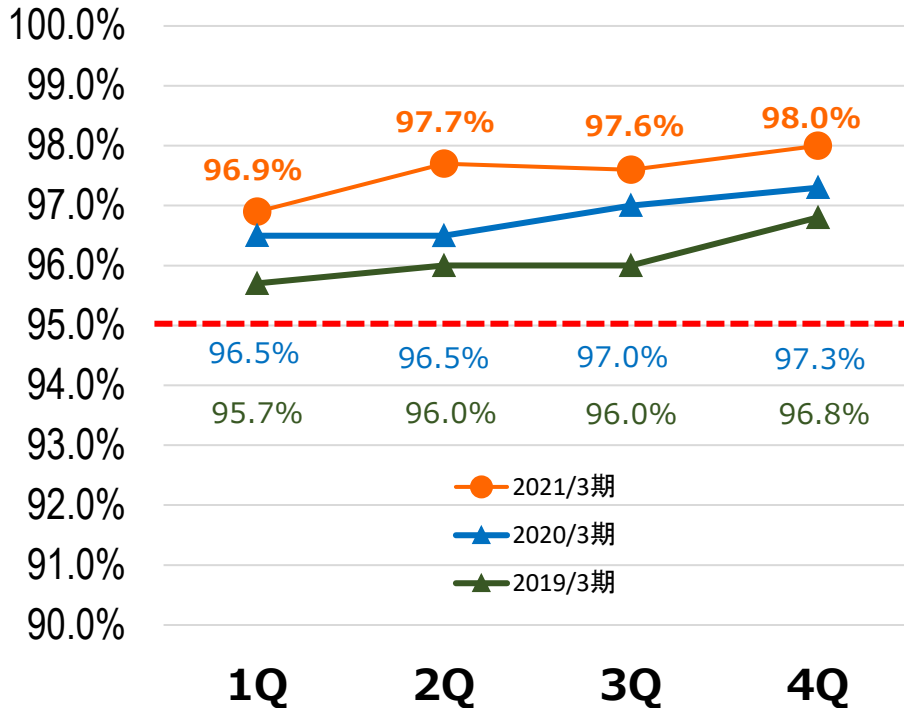
(百万円)

	大阪				東京			
	2020/3	構成比	2021/3	構成比	2020/3	構成比	2021/3	構成比
マンション	8,512	24.4%	11,358	32.2%	40,495	68.1%	24,042	47.9%
非マンション	26,378	75.6%	23,922	67.8%	18,956	31.9%	26,172	52.1%
合計	34,890	100%	35,280	100%	59,450	100%	50,214	100%

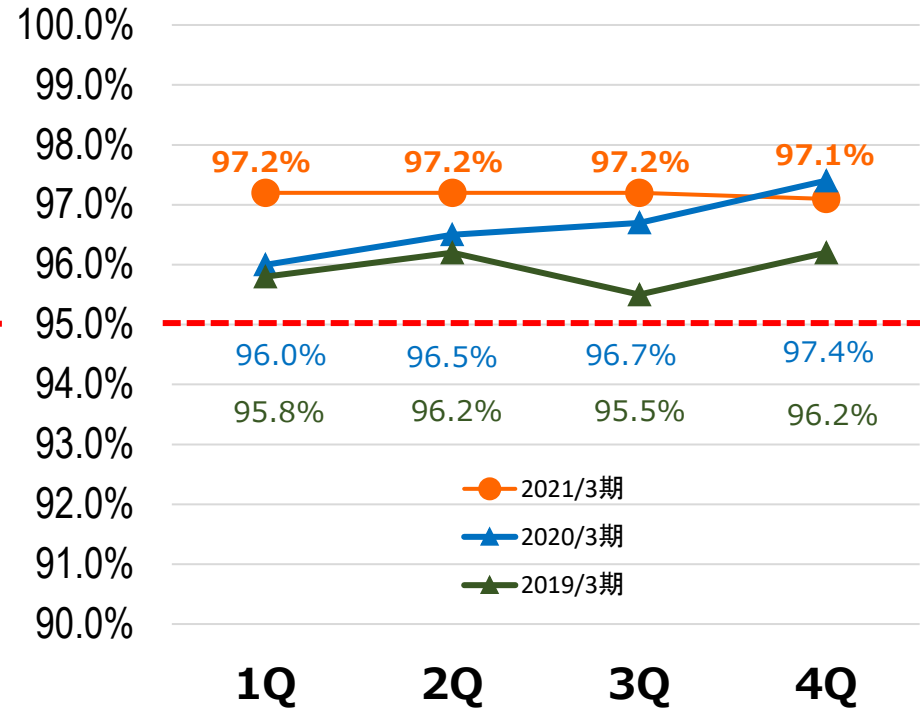
高松エステートにおける高松建設施工物件の入居率

◆東京・大阪ともに、入居率は21/3月期も95%以上を維持。

大阪・名古屋



東京



定義：

「大阪・名古屋」＝大阪府、京都府、兵庫県、名古屋市

「東京」＝東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県

「入居率」＝各四半期末時点の高松エステート（大阪・東京）が管理している高松建設施工物件の入居戸数
 ÷各四半期末時点の高松エステート（大阪、東京）が管理している高松建設施工物件の総戸数

2022年3月期
業績予想・配当予想
年度経営計画

高松建設グループ 年度経営計画

高松建設グループ連結業績目標

受注高	1,590億円
売上高	1,330億円
営業利益	71億円

高松建設単体業績目標

受注高	1,060億円
売上高	840億円
営業利益	42億円

グループ各社業績目標

受注高	534億円
売上高	491億円
営業利益	29億円

創業90年を超える大昭工業は2021年2月26日に高松建設グループに加わりました。高松建設および大昭工業が互いに得意とする規模の建築工事受注の増加を目指すとともに、大昭工業が保有する不動産の有効活用を推進して、投資成果の向上をはかるなど、シナジー効果の発揮により高松建設グループ全体での企業価値の向上を目指します。

【2021年度 基本テーマ】

- 高松建設グループ参画による更なる飛躍
(シナジー効果を活かす)

【キーワード】

- 即行動への意識変革
(スピード・提案力・品質の向上)

【具体的実施事項】

- 金融機関・不動産会社との連携強化
- 高松建設による支援体制構築
- 地域商工関係団体との関係強化
- グループ連携によるコンビニ出店用地斡旋の強化

【会社概要】

創立：1926年10月21日

資本金：3億円

従業員数：58名

営業種目：

- 建築設計施工・リフォーム・土木
- 店舗造作・室内装飾
- 土地建物の斡旋・不動産賃貸業
- 宅地の造成・分譲
- 上記に付帯する事業

関連会社：TSKハウジング株式会社



TakaMatsu



2022年3月期 高松建設グループ各社 基本テーマとキーワード

高松建設

リトライ！提案力と技術力の強化

- ・基本の見直しと精度の向上

高松テクノサービス（大阪）

成長企業への基盤確立

- ・待ち受け体質から能動的体質への転換（人材力育成）

高松テクノサービス（東京）

高松建設グループとしての存在価値向上

- ・超効率化 ・固定概念の打破 ・柔軟な発想力 ・勉強力

高松エステート（大阪）

一括借上事業のエキスパート企業へ

- ・オーナー様パートナーシップの深化

高松エステート（東京）

三位一体営業、グループ連携の深化 不動産事業の強化、拡充

- ・高松建設案件の受注体制強化、旧客接点強化による情報共有
- ・人材、システムへの投資、組織再編、新商品開発

住之江工芸

「確実な高品質施工会社」のポジションを確立し、シェアを広げる

- ・変化への迅速な対応
- 「社会の変化」「市場の変化」「売り方の変化」「ニーズの変化」を見極め的確に対応

金剛組

伝統と技術を生かした持続可能な事業の展開

- ・受注強化 ・四天王寺との関係強化 ・技術者の育成
- ・元施工先との関係強化 ・グループシナジーの追求

中村社寺

存続を懸けて求められる存在と与え続ける存在の確立

- ・組織の効率化+豊富な提案力

ミブコーポレーション

専門特化による事業拡大とグループ連携強化

- ・城南エリアでの仲介事業増大
- ・タカマツハウス物件の販売促進
- ・タツミプランニングへの紹介拡大

タカマツハウス

デベロップメント事業（自社での土地仕入れから分譲までを一貫して行う）の経営基盤確立

グループ連携の強化

- ・経営基盤確立により「黒字化」
- ・グループ連携から「グループ一体運営」

タツミプランニング

再生プランによる黒字化

- ・組織再編～事業部制の採用～

大昭工業

高松建設グループ参画による更なる飛躍（シナジー効果を活かす）

- ・即行動への意識変革（スピード・提案力・品質の向上）

今後考えられる事業リスク（高松建設単体）

1. 金利の上昇や土地価格の下落
2. 原価上昇による利益率低下
3. 資材調達の遅れによる着工遅延
4. 消費低迷による受注減、資産の減少による受注済案件の規模縮小
5. 現場でクラスター発生による契約締結・工事着工・工事進捗の停滞

昨年度と同様に受注のみならず、売上・利益に関するリスクも含んでおり先行は不透明感あり。
契約管理、着工管理を綿密に行うことで、リスクの最小化を図る。

Withコロナを前提とした営業手法のあり方を磨き上げ推進。

青木あすなろ建設グループ
年度経営計画

環境認識

プラス要因

- ・ インフラ建設投資は当面継続
- ・ 社会インフラの更新の増大
- ・ 国土強靱化対策の推進
- ・ リニューアル市場の拡大
- ・ AI、ロボット等の技術革新

- ・ 新設工事件数の減少
- ・ 担い手労働者の減少
- ・ 総世帯数の減少
- ・ 人口減少による経済の縮小
- ・ 五輪以降の経済不透明感

マイナス要因

課題

プラス要因

- ・ 防災、減災対策工事の独自技術を保有
- ・ 再生可能エネルギー関連工事の豊富な施工実績
- ・ 産学連携による共同研究
- ・ 優位性のある官庁工事の施工実績

- ・ i-Constructionの急激な進展が必須
- ・ 現場技術者の逼迫が継続
- ・ 生産性の向上が必要不可欠
- ・ 働き方改革への取り組みが不可欠

マイナス要因

基本方針

～柔軟な発想と強靱な足腰～
環境に即応し、持続的伸展を目指す

基本戦略

- リニューアル関連工事への取組の更なる充実
- 民間非住宅工事と民間土木工事の深耕、拡大
- アビダス事業に続く新規事業分野の開拓
- 新事業（契約）形態への進出（PFI・EPC等）



環境に即応し、持続的伸展を目指す



固有技術
の創生



事業領域
の創出

創



働き方
の創造



柔軟な発想と強靱な足腰

業績予想サマリー

- 受注高は新型コロナが経済活動に与える影響が不透明だが、基本戦略の着実な推進により**増加**を見込む。
- 売上高は前期の受注不足等により**減収**を見込む。利益面は減収によるボリュームダウンが懸念されるが、当社建築セグメントの不採算工事の一掃による利益率の改善により**増益**を見込む。

(億円未満切捨)

	連 結					個 別				
	2021/3	2022/3				2021/3	2022/3			
	実績	中期計画	予想	前期比 増減率	中計比 増減率	実績	中期計画	予想	前期比 増減率	中計比 増減率
受注高	1,410 億円	1,700 億円	1,600 億円	+13.4 %	△5.9 %	751 億円	1,020 億円	910 億円	+21.1 %	△10.8 %
売上高	1,531 億円	1,600 億円	1,510 億円	△1.4 %	△5.6 %	895 億円	950 億円	835 億円	△6.8 %	△12.1 %
営業利益	59 億円	80 億円	64 億円	+7.5 %	△20.0 %	15 億円	45 億円	23 億円	+52.5 %	△48.9 %
営業利益率	3.9 %	5.0 %	4.2 %	+0.3 ポイント	△0.8 ポイント	1.7 %	4.7 %	2.8 %	+1.1 ポイント	△1.9 ポイント
経常利益	59 億円	80 億円	63 億円	+6.6 %	△21.3 %	25 億円	57 億円	34 億円	+31.0 %	△40.4 %
当期純利益	40 億円	50 億円	41 億円	+2.2 %	△18.0 %	24 億円	42 億円	26 億円	+7.6 %	△38.1 %

連結の当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益を示す。

セグメント別業績予想（連結）

（百万円未満切捨）（単位：百万円）

	2021/3	2022/3	
	実績	予想	前期比増減率
受注高	141,079	160,000	+13.4%
建築	46,498	47,500	+2.2%
土木	94,456	112,500	+19.1%
不動産	124	—	△100.0%
売上高	153,106	151,000	△1.4%
建築	41,140	48,000	+16.7%
土木	111,841	103,000	△7.9%
不動産	124	—	△100.0%
売上総利益	15,890	16,400	+3.2%
	(10.4%)	(10.9%)	(+0.5%)
建築	2,589	4,540	+75.3%
	(6.3%)	(9.5%)	(+3.2%)
土木	13,390	11,860	△11.4%
	(12.0%)	(11.5%)	(△0.5%)
不動産	△88	—	—%
	(△71.2%)	(—%)	(+71.2%)

（ %）値は売上総利益率を示す。

セグメント別業績予想（個別）

（百万円未満切捨）（単位：百万円）

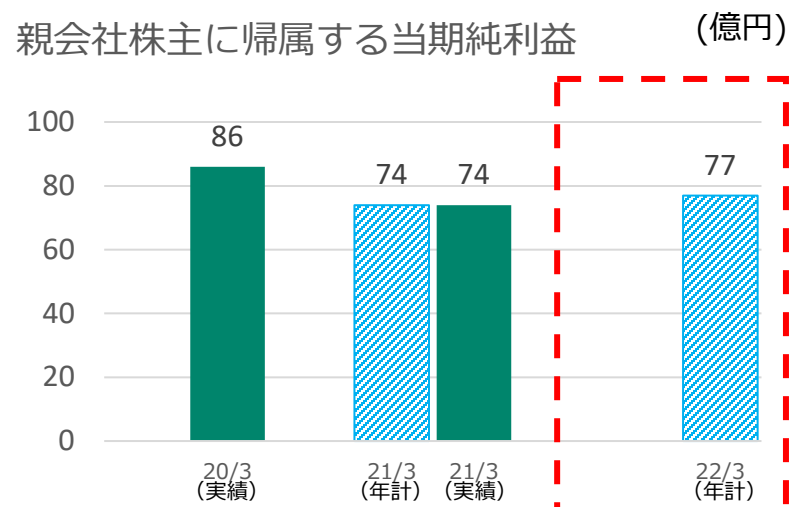
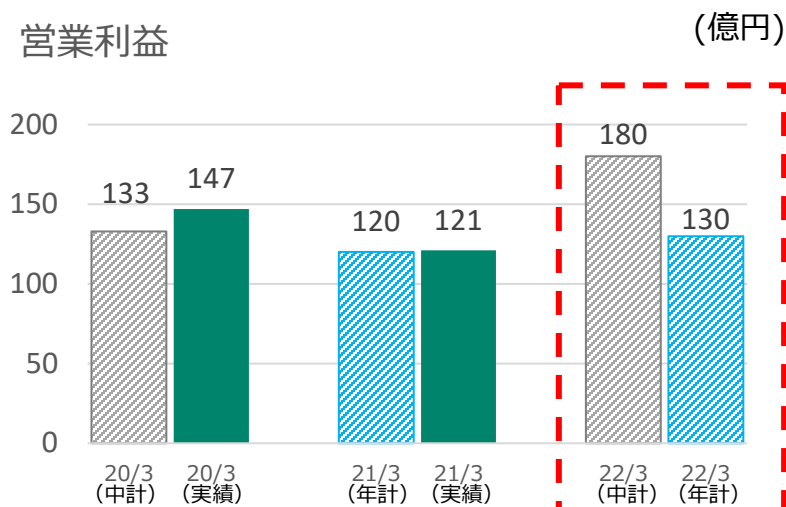
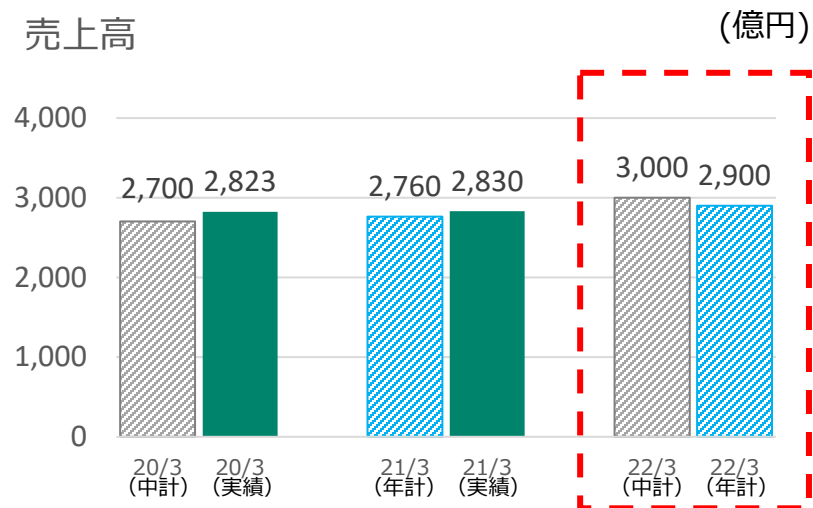
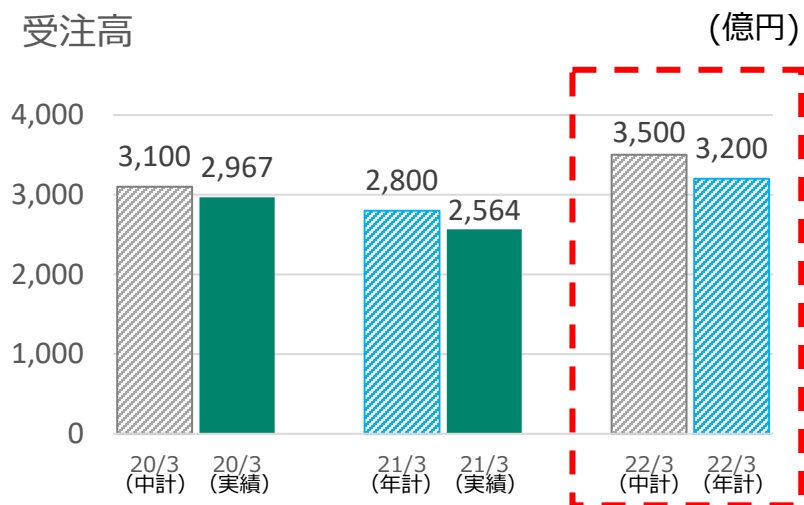
	2021/3 実績	2022/3	
		予想	前期比増減率
受注高	75,120	91,000	+21.1%
建築	44,364	45,000	+1.4%
土木	30,608	46,000	+50.3%
不動産	146	—	△100.0%
売上高	89,578	83,500	△6.8%
建築	38,887	45,500	+17.0%
土木	50,543	38,000	△24.8%
不動産	146	—	△100.0%
売上総利益	7,114	7,900	+11.0%
	(7.9%)	(9.5%)	(+1.5%_※)
建築	2,278	4,300	+88.7%
	(5.9%)	(9.5%)	(+3.6% _※)
土木	4,890	3,600	△26.4%
	(9.7%)	(9.5%)	(△0.2% _※)
不動産	△54	—	—%
	(△37.2%)	(—%)	(+37.2% _※)

（ % ） 値は売上総利益率を示す。

TCGグループ
業績予想・配当予想

2022年3月期 業績予想

◆新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中期経営計画の目標値までは届かないものの、21年3月期実績は上回る見込みとなっています。



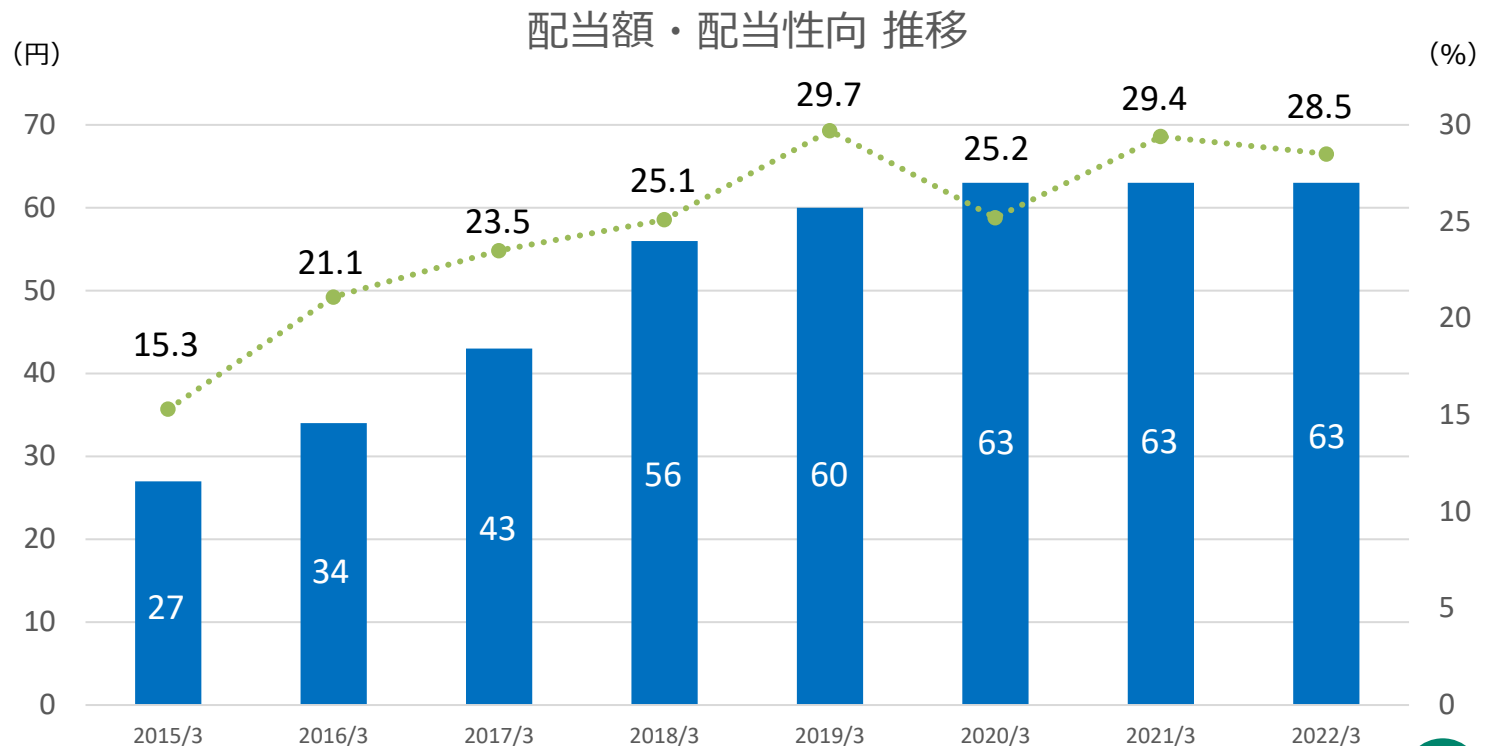
*中期経営計画「Create! 2022」において目標数値は受注高・売上高・営業利益のみ開示。2021/3期の目標数値は非開示。

2022年3月期 配当予想（配当額・配当性向）

◆配当額は1株当たり63円の予定。

◆今後も安定的な配当を継続していく予定です。

	2015/3 実績	2016/3 実績	2017/3 実績	2018/3 実績	2019/3 実績	2020/3 実績	2021/3 実績	2022/3 計画
配当額（円）	27	34	43	56	60	63	63	63
配当性向（％）	15.3	21.1	23.5	25.1	29.7	25.2	29.4	28.5



2021年3月期 トピックス

トピックス

◆ TCGグループ 新入社員224名採用

2021年4月に合計224名
(高松建設グループ146名、青木あすなろ建設グループ78名)
の新入社員が入社いたしました。
今後も積極採用を継続し、
中期経営計画最終年度の2022年3月期には229名
(高松建設グループ144名 青木あすなろ建設グループ85名)
の新卒採用を予定しております。

◆ 大昭工業 TCGグループ入り

大正15年(1926年)創業の総合建設業 大昭工業が
2021年2月26日よりTCGグループの一員となりました。
従来高松建設が施工人員不足により受注を回避していた
3億円以下の小口案件をTCGグループとして
取り込むことが可能となります。

◆ 新潟みらい建設 本間道路(株)の子会社に

新潟みらい建設は、新潟県湯沢地区を中心に舗装事業を
営んでいました。
設立以降、安定した収益を計上してまいりましたが、今後、
同社が持続的に発展していくには、新潟県内に強固な経営
基盤を持つ会社の傘下に入ることが最良の選択であると
判断し、本間道路(株)へ新潟みらい建設の全株式を譲渡
いたしました。

◆ TCG USA 「Blu Laguna Niguel Phase II」



2020年12月に着工したTCG USAにおける初の賃貸集合
住宅開発事業「Blu Laguna Niguel Phase II」が順調に
進捗しております。竣工は2023年2月を予定しております。

◆ 青木あすなろ建設 耐震天井「A A-T E C工法」施工実績



写真出典:長野原町ホームページ

長野原町役場新庁舎・住民総合センター新築工事にて
大ホールの特定制天井に青木あすなろ建設の固有技術
である「A A-T E C工法」が採用され竣工しました。

2021年3月期
受注案件・完工案件

青木あすなる建設グループ 主な受注工事（土木・建築）

会社名	プロジェクト名	施主名
青木あすなる建設	(仮称) 三陽工業(株)本社兼工場移転新築工事	光和(株)
青木あすなる建設	大阪モノレール 支柱建設工事（西岩田工区）	大阪府
青木あすなる建設	立野ダム建設（二期）工事	九州地方整備局
青木あすなる建設	下総（2）整備場新設等建築工事	北関東防衛局
みらい建設工業	新本牧埋立工事（その1・中仕切堤築造工）	横浜市港湾局
みらい建設工業	武蔵引田駅北口地区整地・道路・排水工事 (債務負担行為)	あきる野市
東興ジオテック	山陽自動車道（特定更新等） 広島高速道路事務所管内盛土補強工事（その2）	西日本高速道路(株)中国支社
東興ジオテック	令和2年度 東京国際空港C滑走路他地盤改良工事	国土交通省 関東地方整備局
青木マリーン	令和2年度 八戸港八太郎・河原木地区航路泊地 (埋没) 浚渫工事	東北地方整備局
あすなる道路	天塩川改修工事の内天塩川下流左岸外天端保護工事	留萌開発建設部
島田組	サッカースタジアム整備に係る発掘調査業務 (その2)	(公財) 広島市文化財団
島田組	令和3年度 城ヶ谷遺跡（ネクスコ西日本） 発掘調査業務委託	兵庫県神戸市

青木あすなろ建設グループ 主な完成工事（土木・建築）



青木あすなろ建設
平成27年度高田地区・今泉地区宅地整備
その他工事



青木あすなろ建設
29-新千里東町団地先工区建設工事



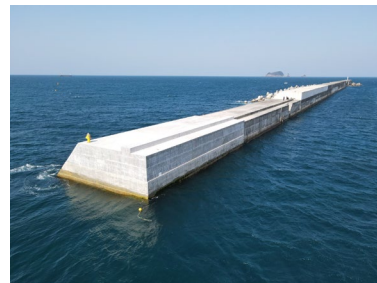
青木あすなろ建設
加藤産業(株)西近畿支社
神姫支店新築工事



青木あすなろ建設
勝浦市興津太陽光発電所建設工事
(土木工事)



みらい建設工業
弥富ふ頭第1貯木場北側護岸
整備工事(その1)



みらい建設工業
令和2年度細島港（外港地区）
防波堤（南沖）築造工事



東興ジオテック
令和2年度急傾斜地崩壊対策工事（公共）
その1



東興ジオテック
令和2年度 東京国際空港C滑走路他
地盤改良工事



あすなろ道路
中標津標茶線舗装（構造改良）工事
中標津出張所工区



青木マリーン
福山港箕沖地区護岸（-10m）築造工事
（その2）



エムズ
『わたす日本橋』
日本橋三井タワー2階入居工事



島田組
令和2年度埋蔵文化財調査業務委託
（実施場所：高槻市）

高松建設グループ 主な受注工事（建築）

会社名	プロジェクト名	施主名
高松建設	伊丹市・物流施設	非公開
高松建設	大津市・本社ビル	非公開
高松建設	長堀橋・マンション新築工事	非公開
高松建設	平和島・マンション新築工事	株式会社大和田商店
高松建設	港区芝5丁目計画新築工事	非公開
高松建設	多摩センター・Kマンション新築工事	非公開
金剛組	重要文化財 聖福寺大雄宝殿 山門保存修理第1期工事	聖福寺
金剛組	重要文化財 旧山田家住宅保存修理工事	公益財団法人 大阪府文化財センター
金剛組	史跡金剛寺境内整備事業	天野山金剛寺

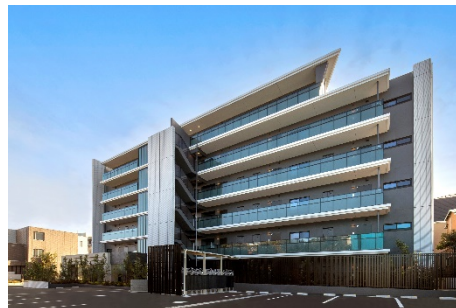
高松建設グループ 主な完成工事（建築）



高松建設
扇町・サンプラテック本社
新築工事



高松建設
御器所・Hマンション
新築工事



高松建設
千葉アヴァンスマンション
新築工事



高松建設
江古田MUSASHINO RESIDENCE
新築工事



高松建設
東日本橋・Nマンション
新築工事



高松建設
草津市民総合交流センター
新築工事



金剛組
大本山鷲山寺本堂新築工事



高松テクノサービス 大阪
住宅 内部改修工事

TCG 高松コンストラクショングループ

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料作成日現在で入手可能な情報にもとづいて作成したものであり、実際の実績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。また、当資料は投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。